

第8回 鶴川西地区新たな学校づくり基本計画検討会 議事録

開催日時	2022年9月26日（月） 9：30～10：59	
開催場所	町田市立鶴川第四小学校 1階ランチルーム	
出席者 (敬称略)	委員	豊田範子、杉山由香子、平城聖子、前田美和子、岡田淳、鶴田朋代（代理戸田歩美）、北川もと、竹村礼子、田中昭光、大隅明、仲村清彦、浅沼秀作、◎鯨坂映子、○悴田隆良 (◎会長 ○副会長)
	事務局	指導課、教育総務課、新たな学校づくり推進課、施設課、学務課、保健給食課、教育センター
傍聴者	0名	

議事内容（敬称略）

1 第7回基本計画検討会の振り返りについて

新たな学校推進課 （資料1説明）

2 鶴川西地区新たな学校づくり基本計画検討会報告書（案）について

新たな学校推進課 （資料2-1～2-2説明）

会長 この内容について、不明点や質問、ご意見などはあるか。

委員 資料2-1(14)の項目に「その他」という項目を入れてほしい。私は、ぜひ委員の方の意見、想いを聞きたいと考えている。

一番気になっていることは、2026年度に鶴川第三小の校舎へ移る。今2年生の児童が6年生になったとき。今の2年生が5年生まではそれぞれ鶴川第三小・鶴川第四小で過ごして、6年生になって一緒に1年間勉強する。1年間勉強して卒業を終えると、鶴川第四小側の児童は真光寺中に、鶴川第三小側の児童は鶴川第二中にまた分かれる。真光寺中と鶴川第二中の統合が2036年のため、卒業したら2つの学校に分かれることが約10年間続く。

そこで、私としては、鶴川第二小、鶴川第三小、鶴川第四小、三輪小に通う小学2年生が何人いるか、計算してみたところ、298人だった。要するに、今のままの人数で推移していけば、現在の小学2年生は全員鶴川第二中に入学しても298人となる。私立やその他の事情で鶴川第二中に通わない子どもが1割いないとすると270人前後となる。そうすると、今の鶴川第二中の1学年の生徒数と同じ。だから、私は、2026年に同じ小学校に通うことになるのならば、卒業したら、みんな同じ中学校、鶴川第二中へ行けば良い。それが可能な人数となる。

中学が分かれることが10年間も続くのがいいのかどうか。この検討会でやることではないかもしれませんが、ぜひ、そういうことなど、委員の皆さんがどんなふうに考えているのかというものを聞いてみたいと思っている。

そんなようなことを、「その他」などで、私が思っているようなことを考えている

方も色々な点であるかもしれないので、意見として載せられる報告書ができればいいと思っている。

新たな学校推進課 最後に、「まとめ」なども設けていけたらと思っている。委員の方の中で気になることを記載できるようにしていきたい。最後に向けて、委員の方から意見を頂戴する機会を作りたい。

3 通学の負担軽減について

新たな学校推進課 (資料3-1～3-4説明)

会長 この内容について、不明点や質問、ご意見などはあるか。

委員 該当する児童で実際にバス通学をするのが何%いるかということだが、相当低い数字になると思っている。真光寺1丁目付近から通学する方法としては親が車で送ってくる過程が一番多いと思う。現在も鶴川第四小で相当数の子が親が車で送ってきているので、鶴川第三小のように遠くなったら、車で送り迎えする家庭が一番多いと思っている。

2番目に、「きつねくぼ緑地前」バス停まで行きました。そして、鶴川第三小まで歩いてみた。そして、その後「平和台入口」バス停も行った。「平和台入口」から鶴川第三小まで歩いてみて感じたことは、「平和台入口」バス停で降りたほうがいい。あそこの道のほうが安全と思った。「きつねくぼ緑地前」バス停からどこを歩いて鶴川第三小に行くのか、ちょっと難しいと思った。私は、細かいけれども、鶴川第三小の正門から学校へ入るということを想定して歩いたので、「きつねくぼ緑地前」だと、北側の方から下りてくるなど、安全面では「平和台入口」からが良いと感じた。

最後に、バス路線が3つあるが、3つ必要かなと思った。少なくとも2つの路線で良いのではないか。というのは、「鶴川団地」バス停の折り返し場のところから「鶴川中央公園」バス停のところまで降りるという「鶴川団地」バス停の終点のところと、若葉台駅から来るバスの「和光学園」バス停は、バス停の距離が50メートルぐらい。子どもたちはどちらを選ぶだろうか。何も2つの路線を使うことはないと思う。

そして、新百合ヶ丘総合病院があるが、そこへ行くマイクロバスを何度も乗ったことがある。私としては、新しくバス路線をつくってもらえるとありがたいと思っている。「鶴川駅」を出発し、今の広袴二丁目や広袴三丁目の道路を通り、真光寺公園へ行き、入谷戸を通過、若葉台から来る鶴川街道を通り、和光学園の前を通過する、「真光寺公園循環」のバス路線をできないものか。そうすると、バス路線1本で子どもが登下校できる。鶴川第一小の教員をやっていた方から話を聞くと、子どもたちが帰るときのバス停が「川島入口」バス停と「岩子山」バス停の2か所あり、その両方に気を配らなくてはいけない。そういうのが学校側にとって、例えば学童保育にとっても大変な負担になる。できれば、停留所は1つに絞れるとすごくいいと聞いた。それで、今私が最後に言ったのは、登校時刻とかなんかに2本ぐらいそういう回ってくれるバス路線みたいなのがつくれたら、助かると思っている。

新たな学校推進課 1つ目については、送迎が多くなる可能性があるということで、そういう可能性

もあると思っている。

2つ目、「きつねくぼ緑地前」バス停が適切かについて、「平和台入口」バス停で降りると、現在、鶴川第二中の生徒が歩いている道路があり、分かりやすかったり、安全だったりという意味ではいいと思う。この調査をさせてもらった中では、通学の時間や距離から「きつねくぼ緑地前」バス停を採用しているが、実際の運用では、「平和台入口」バス停でも構わないと感じる。歩道の状況も、「きつねくぼ緑地前」バス停と変わらず、歩道上にバス停があるので、良いと思う。次回、10月の検討会では、路線バスを使って通学をしていくことに関し、どういったことが懸念として出てくるかを聞きたいと思っている。例えば、見守りが必要であるということや「平和台入口」バス停の方が良いなど、実際通学するにあたり、必要なことはどんなことを聞きながら、議論ができればいいと思っている。次回、意見を改めていただくと、大変ありがたい。

3つ目、通学する際のバス路線は多くは不要である。について、これもその通りと感じる。今回調査したのは、使う可能性がある路線を全て調査したので、運用上、利用する人数が少ないなどで使用しないこともあれば、若葉台駅から出ている路線1本で良いなどの意見や、学校の近くのバス停も1か所のほうが良いという意見もあると思う。その部分は、実際ご利用になる児童の人数や、バスの運行状況などを見た中で判断をしていくことと思っているので、資料上は可能性のあるものを記載させてもらった。

委員

鶴川第三小まで歩くことを考えたら、「鶴川二丁目」バス停まで来て坂を下れば、横断歩道も渡らないし、歩道もついているし、一番近いと思う。ただ、「鶴川中央公園」バス停などを通り過ぎて、「センター前」バス停も通り過ぎて、その次になるが、時間的にはそんなに長くないので、安全を考えたら、そこで下車することが一番良いと思った。

新たな学校推進課 「鶴川団地」バス停から出てくるバスであれば、「鶴川二丁目」バス停も近くにあるので、良いと思う。現実的に、通学の時間帯にこの路線が活用できるかというのは別としても、通学でこれだけの人が使う可能性があるということ、バス会社などと話し合いをしながら進めていく。バス事業者にも協力してもらえるように、協議を進めていきたい。また来月の検討会の中で実際の運用について意見を交わしながら考えていければいいと思っている。

4 通学路の安全対策について

新たな学校推進課 (資料4-1～資料4-2説明)

会長

この内容について、不明点や質問、ご意見などはあるか。

委員

点検をして現地を歩いた際には「交通安全」という視点から見ている要素が多かった。が、「防犯」の視点でも考えていきたい。7月の時期と11月ぐらいになった夕方は全然様相が違うと思う。そうすると、危険な箇所を見分けることが重要になる。男の子の保護者と女の子の保護者だと危険度を見分ける感覚が違う。特に高学年の

女の子の保護者だと、こんな道路は絶対通らせないという感覚を持っている場合も有る。鶴川第四小の保護者も、真光寺中の脇の階段を、通らせないと言う方もいる。そういう防犯の面から点検をするといいと思っている。

あと、2026年度のタイミングで鶴川三丁目では、鶴川三丁目の小学生を全部で6つぐらいの班に分かれて、鶴川第三小へ通うようになったときの始業式から1週間ほど集団登校をしよう。そして、そこに全部、町内会の役員がついてというような取り組みをしていく。新しい鶴川第三小への登校がスムーズにいくような、そういう移行措置みたいなものを、ぜひ学校やPTAと協力してつくりたいと思っている。

新たな学校推進課 1つ目のほうの防犯について、確かに暗い時間帯はまだ確認できていないので、事務局で確認する。そして、この場で報告し、意見をもらいたい。

大変ありがたいお話しである。具体的な話になったときにも、ぜひご協力いただければありがたい。

委員

6月に、鶴川第三小で通学路点検、安全点検をしてきたときに、(マンション名)の横の坂の上に横断歩道をつけてほしいという保護者からの意見が毎年出ているようだったので、今年、その点検の際に多く出ている箇所に関して、いろいろと質問したが、警察署からの回答は、坂を上った頂上のところには横断歩道はつくれないというような回答だった。が、センター商店街からスーパーマーケットのところへ上がる箇所に横断歩道をつくる線ができていた。勾配の角度の問題など、もしかしたらあるかもしれないが、結局、登ってくる車が一時停止をするのが大変という理由で坂の頂上には横断歩道ができないと聞いていたのだが、どうしてその場所には横断歩道を設置できるのか疑問に思った。また、鶴川第四小から鶴川第三小に登校、下校する際、子どもは(マンション名)を通学路ではなくても通る可能性があると思う。その際に、横断歩道を設置するのはスーパーマーケットの方よりも先に(マンション名)の坂の上ではないかなと思った。なので、警察に何が一体違うのかということ、保護者と学校とで協力してもこのような回答が来るレベルのため、可能であれば、町田市で話してほしい。

新たな学校推進課 今回確認した通学路もだが、この後、市の道路を管理している部門や、警察と意見交換や協議をし、要望していく。今の意見は具体的なところとして持って帰り、確認していきたい。

5 鶴川西地区の新たな学校名の選定について

新たな学校推進課 (資料5説明)

前回の検討会で委員からいただいた学校名に関する意見をまとめると合計で12案出た。本日は、希望する学校名を委員に学校名を1案ずつ書いてもらう。また、その学校名にした理由を発表してもらう。最終的には、合計で3案程度に選定することを目標としたい。また、本日はグループに分かれて議論するのではなく、全体で議論を重ね3案程度選定していく。

会長

委員には、机上にある付箋の1枚目に、1つ、良いと思う学校名を記載してもら

う。そして、右下に自分の名前も記載し、もう1枚に、その学校名にした理由を書いてもらう。

委員 鶴川東地区の学校名はどうなっているか。

新たな学校推進課 東地区の学校名は、あさって（9月28日）に同じような検討会を開催し、3案程度決定する予定。

〔 休憩 〕

会長 それでは、委員それぞれから理由を言って欲しい。

委員 鶴川第一小はそのままという考えのようだが、この際、鶴川第一小から鶴川第四小まで、ナンバースクールは全部なくし、私は「鶴川小」がいいと思った。

ナンバースクールをなくし、建っている地域の名前をつけようと。鶴川第一小は「野津田小」とか、例えば、鶴川第二小と鶴川第三小が統合する方は「能ヶ谷」とか、「平和台」など。そういう名前、鶴川第四小、鶴川第三小が一緒になるところを「鶴川」にしたいと思った。

委員 鶴川東地区が「鶴川東」ならば「鶴川西」が良い。理由としては2つの地区は対がいいということ。もし鶴川東地区が別の名称をつけるのであれば「鶴川中央」が良い。また、「鶴川北」も良い。方角が一番説得力あると思う。地図を出すと、鶴川第四小の位置は北側にあるので、北が良い。

委員 「鶴川中央小」が一番いい。この後の校名決定までの手順を考えると、「広報まちだ」に掲載し意見をもらうなど、町内会の回覧板を活用して広報し、教育委員会で教育委員の方々に意見をもらい、その後、市議会に諮って最終的に決定すると記載がある。そういう手順とすると、もっともだな、これならいいなというような受け入れてもらえる名前ではないといけない。そうすると、「鶴川中央小」が一番いいと思った。

鶴川西と聞くと、野津田町の並木近辺を考えてしまう。私は小学生のとき、隣の忠生小にいたが、鶴川には鶴川小しかなかった。昭和39年に鶴川第二小ができ、それ以前の今から60代半ば以降の鶴川地区の方はみんな鶴川小の出身。忠生第一小が100周年記念をやった後、忠生第一小ではなくて昔の忠生小に戻してくれという請願が認められて、忠生第一小学校じゃなくて忠生小学校になった。

私は、鶴川小は、鶴川第一小と大蔵小が一緒になったときに、忠生小に倣って、鶴川第一小が昔の鶴川小に戻す声が絶対出てくると思う。だから、「鶴川西」とか、「鶴川中央」とか、そういうような教育委員や、議員が選ぶ際に、少し難しい選択であると思っている。「鶴川中央小」も、考えたが、「中央」にはセンターの意味や、中心という意味があり、受け入れられるかなと考える。小山地区には小山小学校があり、小山中央小という名前をつけ、それから成瀬も成瀬中央小という名前をつけ、それが受け入れられてきているので、鶴川第四小のところは、ちょうど鶴川地区全体の中から見ると、東、真ん中、西とか何かにしたら中央になる。だから、西よりは中央のほうがいいと考えた。

委員 私自身は、「鶴川」という名前は残したほうがいいと思っている。特に高校の名前

は、広い地区で1校ぐらいずつ配置されているため、その学校が所属している町名、例えば、成瀬や、町田、山崎とかが入ってくると、学校名を聞いただけでどこにあるかがすぐ分かる。ところが、小学校と中学校はそういうわけにいかないが、やはり鶴川の地区にある学校だというのは大切にしたいと思った。あと、今までの資料を見ますと、町田というのは細長いので、この鶴川第四小が位置しているのが大体中央であるので、ごく自然に「鶴川中央」で良いと考えた。

委員 「鶴川中央」が良いと思う。理由は、この位置が鶴川地域の中央に近い場所であるということと、鶴川中央公園があるということ。子どもたちが呼びやすい名前が良いと思う。自分の娘も中央公園をよく使うので、この辺の子どもたちが一番安心して使っている公園が中央公園だと思うが、みんなが公園というのを略して、中央に行ってくるみたいな感じで言葉に出るような親しみがある言葉なので、「鶴川中央小」が良いと思う。

委員 私も、「鶴川中央小」が良いと思う。鶴川という地名は、明治22年につくった村の名称のため、1891年までは鶴川という地名がなく、鶴川という地名をつけるのに、随分当時の人たちが論争して、結局、鶴川に落ち着いたが、その地名は継承すべき。また、ナンバーズクールというかつての発想はもうやめて、鶴川地区全体を見て、鶴川第四小の位置がほぼ鶴川地区の中央になるので、「鶴川中央」が良いと思う。

委員 これまでの名前の検討経過を聞き、「鶴川中央」で納得した。

委員 私は「鶴の台小学校」という名前が良いと思う。

理由は、位置、方角はどこから見のかでぶれる、植物などは永遠のものではないから、また、形状的に、鶴川第四小の形状が、あそこの土手の部分を削る、削らないの話はありましたが、ちょっとだけ高くなっているの、谷戸であっても「台」であると思っている。あと、響きが優しい。子どもの的にも「鶴の台」というのは言いやすい。

元鶴川第四小生で、それから、現在鶴川第三小の親として、「つるさん」「つるよん」という呼び方でほとんど通っている。この辺りに住んで生まれ育ってれば、鶴川に住んでいる意識はある。何が大事かというのは、省略するという意識を持つことで、「鶴川中央小」の場合、「つるちゅうしょう」は、鶴中なのか、小学校なのかよく分からなくなってしまうと思った。やっぱり近隣の学校名との兼ね合いや省略などを検討したところ、「鶴の台小」が一番しっくり来た。

委員 私は、「鶴川つるの台」を提案したい。まず、鶴川について、私も全国の人といういろいろお話する機会があるが、鶴川という名称は非常によく通っている。理由は多分駅があるからと思うが、鶴川と言うとすぐ分かってくれる地名と思う。

それからもう一つ、前回のときには、実は「鶴川」と出したが、鶴川第一小がもともと鶴川小ということで、これを使っていいのかどうかという疑問があった。これもやはり向こうに権利があると言うか、また使うこともあると思い、「鶴川」はやめた。

「鶴川つるの台」は、一般公募のときにこの名前を出した。「つるの台」は平仮名

で書いていて、特徴として、ほかにないからというのが一つの理由。やはりこの学校の一番の特徴になっていると思い、その名前にした。

委員 私は、「鶴川西小学校」にした。単純に地理的にイメージが付きやすいということで、対になる小学校の兼ね合い。向こうが「東」になるのであればこちら側が「西」で、先ほどの話しても、「鶴川西」、「つるにし」と呼びやすくしているのかなと思う。

委員 私も「鶴川西」で書いた。東が「東」になるという前提で、対となるのでいいと思った。

委員 私も「鶴川西」にした。「東」があれば「西」でシンプル。そのまま覚えやすいと思った。「中央」もすごくいいなと思ったが、省略をすることになったときに、「つるちゅう」となったときに中学校かと間違われる可能性がある。

新たな学校推進課 本日欠席されている井上委員にもご意見を伺ったところ、地域の方の意見を尊重して欲しいということであった。

会長 いろいろ意見があったが、地理的に考える、それから、対としてという意見があった。「鶴川中央」が言いにくいという意見もあったが、成瀬は「成瀬中央」があり、省略しておらず、「成瀬中央」と呼ぶ。「なるちゅう」と言わない。

委員 でも、鶴川地区は「つるちゅう小」となる。

会長 おそらく、「鶴川中央小」になったら、省略されず、「つるかわちゅうおう」と呼ぶようになると思う。呼び方はそのときに少しずつ定着してくると思う。

このことから、委員の意見の中から考えると、「鶴川中央小」が6票あるということと、鶴川東地区と対になったらという前提で、「鶴川西小」というのが今挙がっているので、この2案は良いのではないか。

第3案としては、「鶴の台」という名前が入った「鶴川つるの台小」か「鶴の台小」というところだが、このような3案でよいか。もう少し意見はあるか。

委員 「鶴川中央小」が省略された際の読み仮名で、先ほど会長が言ったとおり、先例の成瀬中央小や小山中央小が略して「なるちゅう」や「おやまちゅう」と呼んでいない。そのことから、今までの例からしても、省略して縮めて読むことは無いと思う。

それからもう一つ、新しい名前ということで、私は、鶴川東地区は「鶴川第二小」のままでいいと思っている。そういう意見も出てくると思う。教育委員会の考え方としては、それは無いという考え方であるのか。

新たな学校推進課 旧校名を使用してはいけないとは我々は発表していない。ただ、鶴川東地区の学校名意見として「鶴川第二小」が出ているかという点が出てきていない。

委員 忠生地区に生まれ育った。忠生小と函師小が統合し、函師小の位置になると、地元の方は、名前だけは昔の「忠生小」が良いという意見が出てくる。「小山田小」と「小山田南小」が統合する際も、小山田地区の人たちは、場所が移っても「小山田小」の名前だけは絶対に譲らないというだろう。そういう昔からの地域の人たちの声というのがあるので、地域全体の声も受け入れられる名前にしないといけない。せっかく検討会で決めても教育委員会などで没になることも考えられるので、そういう視点からも考えてみるべきだと思う。

委員 今の鶴川第二小の場所も、大きく見れば鶴川中央といえは中央になるのか。私的には、鶴川中央公園があるからと言う意見で言えば、鶴川中央公園が鶴川第四小と鶴川第二小両校から距離は変わらないと思う。何をもって鶴川の中央なのかとなると、鶴川第三小であれば鶴川中央公園があるから中央だと納得するが、鶴川第二小と鶴川第四小なら別に距離感的に鶴川中央公園からは離れているので、中央という部分を鶴川東地区も主張してくるのではないか。

会長 ありがとうございます。鶴川の地理的なことを考え、事務局で票数などを整理する。しばらく休憩とする。

(休憩)

新たな学校推進課 他の地区で学校名の意見がまとまった地区があるので、先んじて報告する。本町田地区は「本町田ひなた小」「ひなた小」「ひなたの丘小」という3案でまとまった。

南成瀬地区は「成瀬小」「成瀬さくら小」さくらの名称が平仮名の案が1案と「成瀬桜小」の桜の名称が漢字の案が1案で合計3案となっております。

本町田地区の「ひなた」は、ひなた村が近くにあるなど、本町田地区の「ひなた」というキーワードで場所が分かりやすいということが意見として出た。

南成瀬地区は、南第二小の場所に学校が建つが、「成瀬」に建設される学校であることや、成瀬駅、成瀬高校といった「成瀬」の名称がついたランドマークが多くあるということで「成瀬」、あとは、恩田川の桜並木が綺麗であるということから「成瀬桜・さくら」という名称で整理された。

鶴川東地区に関しては、9月28日水曜日に鶴川第二小で検討会を開催し、3案程度に決める。

会長 「鶴川西」・「鶴川中央」この2つの案は票数から3案に含みたいと思う。ただし、「鶴川西」については、鶴川東地区で「鶴川東小」が出なかった場合には対にはならないので、このままだと「鶴川中央小」一択になる可能性があり、不安が残る。そのため、最後にもう1案考える必要がある。現在、委員の意見から出ている「鶴の台」と「鶴川つるの台」の2つから1つ選ぶ形にして、第3の案として提案していきたいと考えるが意見はあるか。

委員 「鶴川つるの台」の「つる」は平仮名が良いのか。

委員 「鶴川鶴の台」にすると鶴と鶴が漢字のため、鶴が2文字になるから平仮名でどうか。

委員 「つるの台」というのに少し抵抗があったのは、私は、「つるの台」と言われると、鶴川第四小の学童クラブが建っている少し高くなっている場所を「鶴の台」と言ってきたので、鶴川第三小と一緒にするのに鶴川台四小の一部を取って、新しい学校の名前にするのはいかがなものかと。また、鶴の台の「鶴」は漢字で鶴の台となる。これを鶴川第四小の位置が、鶴川地区の少し高くなった丘の上にある学校という意味に捉え、「つる」が平仮名の「鶴川つるの台」という名称であれば受け入れられると考える。

- 委員 あくまで「鶴」の漢字が2つあるのは不自然なので、平仮名にした。
- 委員 平仮名のほうがいい。
- 委員 別に、2つ漢字で「鶴」が続いたから不自然ということはない。それはそれでいい。
- 会長 平仮名にするか、漢字にするか考えられるので、「鶴川」を前に付けるか、「つるの台」だけにするのかどうするか。
- 会長 地名として、鶴川は残したいという意見があったので、鶴川を入れるのであれば「鶴川つるの台」という案。
- 委員 漢字で書く際の負担とか、教育委員会の考え方の中に「短く端的に」があった。なるべく文字が少なく、意味がまとまっているなら、「鶴の台」も良いと思う。鶴川第三小から来る児童がどれぐらい「鶴の台」を知っているか分からない。これから入学する子も鶴の台があったことやもしかしたら学校を建てる際に、形によっては鶴の台をなくす可能性も有る。「鶴川つるの台」を書いたり、言ったりする際に支障があるかないかと言われたら、私は「つるつる小」卒とは言いたくない。
- 会長 鶴川を取って「鶴の台小」にするのかどうか。
- 委員 「鶴川中央」ももめるかもしれない。「中央」の取り合いになるかもしれない。
- 委員 シンプルにいくなら「鶴の台」が良い。平仮名だと本来の「鶴の台」とは違う表記になる。やっぱり鶴川なので、「鶴」という漢字が入っていたら分かりやすい。
- 会長 ということで、「鶴の台」で整理がつきそうだが、どうか。
- 委員 鶴川という名前の由来が、小野路町や、大蔵町、野津田町の8つの村が一緒になって鶴川村になった経緯から、8村で集まった際になかなかまとまらなかったと聞く。その時に、8つの村とも全部小さな川が流れていて、その水を使って田んぼや畑をやって、そして、江戸時代からあると。そして、その川は全部鶴見川に流れていっているのではないかと。だから、一緒になる8つの村は全部鶴見川でつながっている村だと。鶴見村にするのがいいけれども、一番河口の場所に、鶴見が神奈川県にもあるから、鶴見じゃだめだと。鶴見川の「鶴」と「川」を取って鶴川村にしようとなったら、みんな賛成だとなった。それ以降、忠生地区や鶴川地区、堺地区、南地区の中で、鶴川地区が一番まとまりがよかったと聞いている。この辺りの昔から住んでいる方々とかが鶴川村は8つの地区のまとまりがよかったと、そういうような歴史もある。真光寺や広袴には先祖代々の方々も住んでいる。そういう意味合いからも、鶴川という名前を上につけるのが、いいと思う。
- 会長 もともとあった鶴川という名前は残そうということが当初からあったと思うので、書くのが大変でも「鶴川つるの台」という案にすることが1つの案で、平仮名にするか、漢字にするかは別として、「鶴川つるの台」という案に1つまとめていくということでもよろしいか。
- それでは、この3案ということで、「鶴川西」、「鶴川中央」、「鶴川つるの台・鶴の台」、平仮名か、漢字かというのはこれからまた考えることになるが、この3案を選定するというにしたいと思う。それでは、この3案を市民への広報を、「広報ま

ちだ」やホームページなどで広く周知していく。また、その意見を踏まえ、町田市教育委員会において1案に絞り、市議会を経て最終確定となる。

新たな学校推進課 「鶴川西」、「鶴川中央」、「鶴川つるの台・鶴の台」、こちらの3案としたい。今後、周知していくので、周知のアイデアがあれば事務局まで。

6 第9回基本計画開催概要

新たな学校推進課 2022年10月24日（月）9時30分～鶴川第三小学校を予定